環境科学会誌 第29巻 第1号 (2016年)

目 次

リレーコラム・理事が語る環境科学研究<第 56 回>	
環境科学研究を実践できているかの自己診断	
	1
一般論文	
水道水中のイミノクタジン・ジクワット・パラコート LC/MS/MS 一斉分析法の	
妥当性評価	
宮崎悦子・平林達也・水田裕進・木村慎一・	
宮本紫織・大倉敏裕・中村弘揮・粕谷智浩・	
古川浩司・塚本多矩・市川千種・髙原玲華・	
林田寛司・京野 完・佐久井徳広・	
山本五秋・齊藤香織・五十嵐良明	3
研究資料	
野生絶滅種の里帰りの便益 ―仮想評価法と産業連関分析を用いて―	
大信田勇太・沼田大輔	17
学会賞受賞業績	
環境汚染物質の健康リスク評価の研究	
	26
学術賞受賞業績	
アクションリサーチによる環境政策・環境計画の評価および環境指標の開発	
中口毅博	30
	00
奨励賞受賞業績	
環境規制に対する政策評価の必要性について	
衆境焼削に対する政策計画の必要性に フャ・C 岩田和之	34
	34
家庭からの環境負荷のモデル推計と持続可能なライフスタイルに関する研究	00
金森有子	38
GIS とリモートセンシングを活用した都市気候の人為的変化に関する研究	
	41
本会記事	45

会	告		• • • • •		 	• • • • •		 	 • • • • •	• • • • •	 • • • • •		••••	• • • • •		•••	47
学界消	息		••••	• • • • •	 	••••		 	 • • • • •		 • • • • •	••••	• • • • • •		•••••	•••	53
ひと ご 論対		国際化 			 		-				 			∏	加恕	捕	54
														ш	コン川 日	14.	J4